

日本共産党埼玉県議団ほっとNEWS

2012 NO. 10

2012年6月28日 日本共産党埼玉県議団

東電の料金値上げ、災害廃棄物受け入れ 常任委員会で質疑予定（7月2日）

来る7月2日（月）午前10時より各常任委員会が一斉に開会されます。党県議団は柳下礼子県議が環境農林常任委員会、村岡正嗣県議が産業労働企業常任委員会で質疑する予定です。

環境農林常任委員会

「県産農畜産物等の放射性物質調査について」「災害廃棄物の受け入れ」「埼玉県広域緑地計画」についての報告が行われます。

産業労働企業委員会

「県営浄水場からのホルムアルデヒド検出について」「ハローワーク特区について」「電力料金の値上げ等への対応について」の報告が行われます。

そのほか、福祉保健医療常任委員会では「奥武蔵あじさい館の今後について」報告が行われる予定です。県は9月議会に同施設廃止条例を提出する意向です。また、文教常任委員会では県立福岡高等学校を廃止し大井高等学校に統合する学校設置条例の一部改正条例も審議されます。

自民党議員が男女共同参画推進センター一廃止を主張 県議会一般質問（27日）

6月27日、田村琢実議員（自民）が男女共同参画推進センター（With Youさいたま）の廃止を再

度知事に迫りました。

田村議員は、「センターの事業を改めて検証すると、施設を通して行う必要がないことは明白であり、センターを廃止して事業を本庁担当課へ移し、施設の有効活用をはかる必要がある」と主張。一例として、知事が力を入れているハローワーク特区に関連して、労働関係の集約施設にすることを提案しました。

これに対して上田知事は「センターは『ドメスティック・バイオレンス被害者自立支援セミナー』や『チャレンジ&お仕事相談』などきめ細かな支援を行う役割を担っている」「男女共同参画を推進する県の総合拠点施設として運営を続けさせていただきます」と答弁しました。

県立小児医療センター存続求める第3次署名提出会

7月10日（火）13：30

埼玉県議会5階第1会議室

署名をお持ちの方 12：30集合
打ち合わせ13：00から

患者家族に限らず今回は発言できるようにしたいと考えています。ぜひ、各地の存続を求める運動を進めて来てください、ご参加下さい。